

INFORMATION



千里ライフサイエンスセミナー

「エピジェネティクス：ゲノムを管理し活用する戦略」

日 時：平成 21 年 4 月 17 日(金)10：00～16：10

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル 5 階
ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

着眼点：エピジェネティクスは真核生物が生み出したゲノムの高度活用戦略である。その仕組みには様々なクロマチンの修飾のほか、non-coding RNA が関わるようになってきた。また、次世代シーケンサーをはじめとする最新技術の導入により、エピゲノム研究が一気に加速している。エピゲノムを知り、活用することは、幹細胞の作成・分化誘導・品質管理、がんの診断・治療、生活習慣病の解明に必須である。

コーディネータ：国立遺伝学研究所人類遺伝研究
部門 佐々木裕之

京都大学ウイルス研究所 眞貝洋一

プログラム：

1. はじめに

国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門
教授 佐々木裕之

2. small RNA とレトロエレメント抑制

JST さきがけ 研究員・大阪大学生命機能
研究科 宮川さとみ

3. 幹細胞のゲノム品質管理とリプログラミング

京都大学大学院医学研究科遺伝医学講座
教授 篠原隆司

4. 大規模エピゲノム解析と疾患

東京大学先端科学技術研究センター
教授 油谷浩幸

5. がん抑制遺伝子の DNA メチル化と RNAi

札幌医科大学学生化学講座 教授 豊田実

6. おわりに

京都大学ウイルス研究所 教授 眞貝洋一

参加費：無料

定 員：300 名

申込方法：氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話
および FAX 番号を明記の上、FAX
または E-mail で下記宛にお申込み下
さい。事務局より参加証を返送いたし
ます。参加証はセミナー当日、受付で
提示下さい。

申込先：(財)千里ライフサイエンス振興財団

セミナー Z1 係

〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 20 階

TEL：06-6873-2001

FAX：06-6873-2002

E-mail：tnb@senri-life.or.jp

●異分野融合×リゾートスタイル×長文前刷・長時間発表

第21回 バイオメカニズム シンポジウム in 箱根

2009 参加・論文募集要項

主 催：バイオメカニズム学会 (SOBIM JAPAN)

期 日：2009年8月4日(火)～6日(木)

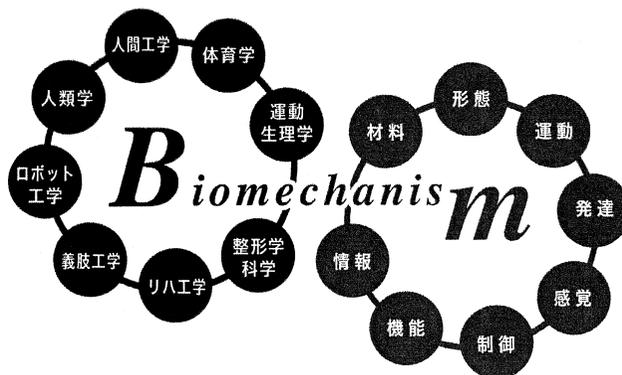
開催地：ホテル大箱根 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1246)

演題申込締切：2009年3月6日(金) 必着

予稿集原稿締切：2009年5月8日(金) 必着

参加申込締切：2009年6月26日(金) 必着

URL：<http://www.sobim21.u-tokai.ac.jp/>



協賛学会 (50音順・予定)

計測自動制御学会
 システム制御情報学会
 情報処理学会
 人工知能学会
 人体科学学会
 精密工学会
 電気学会
 電子情報通信学会
 日本運動生理学会
 日本 FES 研究会
 日本看護科学学会
 日本看護技術学会
 日本看護研究学会
 日本機械学会
 日本義肢装具学会
 日本義肢装具士協会

日本建築学会
 日本作業療法士協会
 日本シミュレーション学会
 日本写真測量学会
 日本人工臓器学会
 日本人類学会
 日本生活支援工学会
 日本整形外科学会
 日本生体医工学会
 日本生理学学会
 日本体育学会
 日本体力医学会
 日本人間工学会
 日本バイオマテリアル学会
 日本バイオメカニクス学会
 日本福祉のまちづくり学会

日本補綴歯科学会
 日本理学療法士協会
 日本リハビリテーション医学会
 日本リハビリテーション看護学会
 日本リハビリテーション工学協会
 日本臨床スポーツ医学会
 日本臨床神経生理学会
 日本臨床バイオメカニクス学会
 日本ロボット学会
 日本ロボット工業会
 ヒューマンインタフェース学会
 ライフサポート学会
 臨床看護研究学会
 臨床歩行分析研究会
 IEEE EMBS Japan Chapter
 IEEE EMBS West Japan Chapter

第 21 回バイオメカニズム・シンポジウム実行委員会

委員長：小金澤鋼一；副委員長：沖川悦三；事務局長：山田 洋；プログラム委員長：江原義弘

実行委員：井上剛伸, 大島 徹, 小河原慶太, 金子文成, 加藤達郎, 木塚朝博, 中川昭夫,

長谷和徳, 藤井直人, 藤井範久, 藤川智彦, 藤本浩志, 藤本英雄, 増田良介

シンポジウム事務局：東海大学体育学部体育学科 E-mail: sobim21@tokai-u.jp



沖縄科学技術大学院大学 細胞分子シナプス機能ユニット

研究員、技術員募集

当ユニット（代表研究者：高橋智幸）では、電気生理・イメージングや分子生物学などの手法を用いて、中枢シナプスにおける伝達物質放出制御機構について研究を行っております。詳細は当ユニットのホームページ(<http://www.irp.oist.jp/synapse/>)をご参照ください。

[募集内容] 研究員、技術員：若干名

[応募資格]

1. 研究員（生理学）：博士号取得者（見込み可）で、パッチクランプ法、細胞内カルシウムイメージングなどの生理学実験の経験を有すること。
2. 研究員（分子生物学）：博士号取得者（見込み可）で、核酸・タンパク質精製、免疫組織化学、細胞培養、遺伝子導入などの分子細胞生物学実験の経験を有し、技術員の指導が出来る方。
3. 技術員（分子生物学）：自然科学系の大学卒以上で、分子生物学の基礎知識と実験経験を

有すること。

[採用期間] 単年度契約（更新可）

[待遇] 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の規定に準拠

[着任時期] 平成21年2月1日以降（相談可）

[勤務場所] 沖縄県うるま市州崎12-2工業技術センター内

[応募方法] 履歴書、論文業績リスト、志望動機と抱負（A4：1枚程度）、推薦状（1通）または推薦者の氏名と連絡先。

[応募メ切] 予定人数に達し次第、メ切（お問い合わせ下さい）

[連絡・書類提出先]

〒904-2234 沖縄県うるま市州崎12-2

沖縄県工業技術センター内 沖縄科学技術研究基盤整備機構 高橋ユニット 江頭

TEL：098-929-0617 Fax：098-929-0596

Email：takahashi-recruit07@oist.jp



「第18回神経行動薬理若手研究者の集い」のご案内

この度、第18回神経行動薬理若手研究者の集いを平成21年3月19日（木）横浜情報文化センター情文ホールにて開催することになりました。今回のテーマは「精神神経疾患におけるグリアおよびトランスポーター研究の重要性とその魅力」と致しました。これまでの神経科学的研究は、主に神経細胞の機能解析などが中心的に進められてきましたが、今日ではグリア細胞の機能を含めたグリアーニューロン回路網として理解し、推進することが重要であります。また、トランスポーターの機能異常と精神神経疾患との関連性についても重要な研究課題と考え取り上げさせて頂きました。今回の研究会が今後の脳研究に少しでもお役に立

てれば幸いです。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

【開催概要】

日時：2009年3月19日（木）9：30～18：30

会場：横浜情報文化センター・情文ホール（日本大通り）

後援：（社）日本薬理学会、トランスポーター研究会

【プログラム】

特別講演：東京薬科大学・生命科学部

工藤 佳久 名誉教授

「脳機能とその病態におけるグリア細胞の役割」

シンポジウム1：「精神神経疾患とグリア細胞」
シンポジウム2：「精神神経疾患とトランス
ポーター」

一般演題（口頭発表）

一般演題を募集しております。詳細は、ホーム

ページ (<http://ynbp2009.org>) をご覧下さい。

【お問い合わせ先】

第18回神経行動薬理若手研究者の集い事務局

東京医科大学薬理学講座内 稲津正人

E-mail : ynbp2009@tokyo-med.ac.jp
